

市町村名	那覇市									
平成 2 4 年度(事故繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	1 -		那覇・福州友好都市交流シンボルづくり事業				沖縄 2 1 世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第 3 章 - 3 - (2) - ウ		
担当部課名	建設管理部 花とみどり課		事業実施 (予定)年度	平成24年度			沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備		
								- 1 - (1)		
事業内容	観光都市としての景観づくりと、中国福州市との友好姉妹都市のシンボルとなるよう、巨大龍を作成し、那覇ふ頭旅客バスからの観光客を迎え入れゲートの位置にある公園へ設置する。									
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			24年度	24年度(繰越)	24年度(事故繰越)	25年度	26年度			
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	123,493	-	-					
		(b)予算現額	123,493	-	-					
		(c)増減額(b-a)	0	-	-					
		(d)繰越額	-	123,493	109,720					
	A . 計 (b+d)		123,493	123,493	109,720					
	B . 執行済額		0	14,280	56,322					
	うち交付金充当額		0	11,018	45,057					
	次年度繰越額		123,493	109,720	-					
	執行率 (%) (B / A)		0.0%	11.6%	51.3%					
予算の状況の説明		シンボル設置の場所・規模について、周辺景観に配慮するよう有識者から指摘を受け、その調整に不測の日数を要したためH25年度へ繰越を行った。さらに、モニュメント製作にあたって中国側の鉱山事業者及び石材工場業者の事情により作業体制の確保が困難となり、モニュメント製作に想定以上の時間を要することとなったためH26年度へ事故繰越した。 その後、石材の調達から彫刻・運搬までの製作工事を実施したが、1本分の設置工事について、基礎工法の変更や架設に係る人材確保が難しいことから事業の一部の遂行が困難となった。既に執行した出来高を除き、交付決定の一部取消しがなされ、交付金額は約5,600万円になった。								
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)			達成状況						
				24年度	25年度	26年度	27年度			
	シンボル施設の作成・設置:1基	目 標	(シンボル施設の作成・設置:1基)	()	()	()	()			
		実 績	シンボル施設の作成・一部設置							
		目 標	()	()	()	()	()			
		実 績								
達成状況説明	実施設計及び石材の調達から彫刻・運搬までの製制作工事を実施したが、1本分の設置工事について、基礎工法の変更や架設に係る人材確保が難しいことから事業の一部の遂行が困難となり、既に執行した出来高を除き、交付決定の一部取消しがなされた。									
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)			基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)		
	シンボル施設の作成・設置:1基	目 標	()	(シンボル施設の作成・設置:1基)	()	()	()	()		
		実 績		シンボル施設の作成・一部設置						
		目 標	()	()	()	()	()	()		
		実 績								
	進捗状況説明	事故繰越をした年度においても基礎工法の変更や架設に係る人材確保が難しいことから事業の一部の遂行が困難となった。今後は、那覇市の単独事業として、シンボル像の完成に向けて取り組むとともに、完成後は関係課と連携し那覇市の新たな観光スポットとなるよう事業を推進する。								

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	H24年度からH25年度に繰越した予算で実施した実施設計において、シンボル像を当初予定していた1基から2基とすることを決定し、H25年度事業として新たに1基分の予算の交付決定を受けた。2基が完成し初めて成果をなすことから同一事業ととらえ、H24年度予算事業では、2基の製作工事、H25年度予算事業では、2基の設置工事として発注を行った。 この点、各年度事業で1基ずつ設置することとした交付決定の内容に基づいた予算措置がなされていなかったことから、当初の交付決定額が減額されるという交付決定の一部取消しがなされた。 施工においては、架設に係る人材確保等の課題があったことから工事を完了できなかった。なお、完了検査後に阿形・畔形のうち畔形にヒビが発生していることが発見された。	那覇市の単独事業として完成に向け適切な対応をとることを前提に、交付決定の一部取消しがなされたことから、今後は、那覇市の単独事業として残った工事の完成に向けて、工事受注者と綿密な調整を行いスムーズな工事進捗に努めて行くこととする。 あわせて、完了検査後に発生したヒビについても、残った工事の作業と合わせて適切に補修していくこととする。
今後の取り組み方針		
当該事業の早期完成を目指し、県外、海外へ観光都市那覇として、ホームページなどにより広くPRを行う。 また、シンボル像が、クルーズ船観光客をはじめとする観光で訪れた方々に観光都市那覇へ到着したという実感、インパクトを与え、那覇市の新たな観光スポットとしての取り組みにより観光振興に資する効果が得られるよう努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
70,602	70,095	56,075	14,020	507
那覇市 70,602千円 委託料 12,850千円 工事請負費 57,752千円 工事請負費 42,676千円 (単独費) 委託料 (有)構研テクノス 12,850千円 (交付対象:12,343千円 交付対象外:507千円) 工事請負費 (株)沖栄建設 57,752千円 工事請負費 琉球建設産業(株) 42,676千円 (単独費) 那覇・福州友好都市交流シンボルづくり実施設計業務委託 (シンボル像に係る実施設計) 平成25年度那覇・福州友好都市交流シンボルづくり整備工事(その1) (シンボル像に係る請負工事費) 平成26年度那覇・福州友好都市交流シンボルづくり整備工事(その2) (シンボル像に係る請負工事費)				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
		支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者および工事業者は、指名競争により選定したが、基礎工法の変更や石材架設における人材確保ができず工期内に工事を完了できなかったため契約解除となった。 ○一部、事業遂行が困難となり、交付金額は約5,600万円になった。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において、支出等に関する書類により、確認しており、また、交付決定の一部取消しを踏まえ、交付金充当額の精査を行っており、適正であった。	
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		